

令和元年9月10日（火）

特別支援学校の教員を目指している福岡教育大学1年生の体験実習が始まりました。3日間の予定で、初日の今日は、本校の概要や聴覚障がい教育についての講話の後、幼稚部の各学級で、授業参観や子どもたちとの交流、放課後は作業の手伝いをしてもらいました。明日、明後日は、小学部・中学部で実習をします。

校長あいさつで、この実習で子どもたちの困難さを理解すること、障がい名は同じでも一人一人の実態は様々であること、子どもたちのいいところや可能性をたくさん見つけてほしいことをお願いしました。体験したことを大学に持ち帰り、子どもたちの姿や学校の様子を思い出しながら専門的に学び、子どもに応じた指導を工夫できる教員になってほしいと思います。

